

3月議会

国保料3年連続引き下げる

中山いくみが市を追及



引き下げ署名を訴える中山市議

**引き下げ求める
25万筆の署名**

保険料が高すぎて払えず、保険証をとりあげられ、医者にかかれぬ悲劇が広がっています。日本共産党市議団幹事長をとめる中山いくみ市議は、この事態を何とかせねばと、市民と協力して国保料引き下げの署名運動を展開。これまでに25万筆が市に提出されてきました。

中山市議は、この署名運動の先頭に立つとともに、上京して政府交渉にのぞみ、国保料の引き下げのための予算増を要求してきました。



3月議会で市を追及する中山市議

入院が無料に 小学校卒業まで

中山市議と日本共産党市議団は、中学卒業までの入・通院の医療費を無料にするよう予算の組み替え動議・修正案を出し、3月議会でも市長に迫りましたが、他党派が反対し、否決されました。これを受け、他党派が出した「小学6年卒業までの入院無料」の提案に、現行制度より前進するものだと、共産党市議団も賛成。可決しました。



政府に要望書を渡す中山市議・しのだ清・党県国政対策委員長ら

市の国保運営協の 委員として論戦、 協議会の共通認識に

中山市議はこれまでも市議会
で引き下げをくり返し要求。

市の保険料などを審議する国
保運営協議会の委員として、具
体的な数字をしめして福岡市の
異常さを告発。

「市の保険料は高すぎる」とい
うことが協議会の共通認識にな
り、新年度は据え置き・引き下げ
の方向が答申され、3年連続
年負担にして約5万円の引き下
げに突っ込んだものです（モデル世
帯、3年前との比較）。

しかし、まだ全国の政令市で
は2番目の高さ。引き続き引き
下げを求めて中山市議は奮闘し
ます。



中山いくみ
市議会議員

日本共産党

早良区民報
2010年春季号

中山いくみ市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。（日本共産党西部地区委員会 tel.841-1158）

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627

無料 生活・法律
そうだん

◎定例相談会

日時／毎月第2金曜日
受付／午後7時～8時
場所／中山事務所
（早良区飯倉5-14-51）
お問い合わせ／
電話841-1158
（党西部地区委員会）

サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など弁護士と中山市議が相談を受け付けます。お気軽におこしください。

赤旗を読みませんか？
日刊／月2900円 日曜版／月800円
電話841-1158へご連絡ください

住宅リフォーム助成 条例提案しました

中山市議は、他都市調査をもとに、他党派にも呼びかけ提案。市民が市内の中小業者を使って住宅をリフォームしたら工事費の1割を助成するものです。大きな経済効果があるものですが、残念ながら過半数の賛成は得られず否決。中山市議は実現するまでがんばります。



何でも病院

独法化で医師や
看護師の退職が
あいつぐ

中山市議
が追及

中山市議は3月23日の条例
例予算特別委員会でも市立病
院の独法化によって公務員身
分のはく奪、こども病院の人
工島移転で大量退職を生みだ
すことについて言及し、「独
法化病院に医師や看護師は
集まらない。経営は破たんし
突き進むことになる。公約違
反に市民の怒りは広がり定着
している」とのべ、独法化、
人工島への移転計画は撤回す
べきだと市長に迫りました。

市長は「小児医療の充実な
どのために必要。ご理解をい
ただきたい」と従来の答弁を
くり返しました。

中山いくみ現場の声を市政に

「天下り」の市幹部には高額報酬の一方で…

司書の非常勤化で浮く人件費は1000万円。他方で、総合図書館・市美術館・博物館の館長は市幹部OB。それぞれ週3日程度の勤務で月70万円年間840万円です。こんな「天下り」こそやめるべき——中山市議は市にただしました。



望書が届いていることを紹介。これでは図書館教育と教職員待遇の一層の後退を招くことになる。各学校にとっては職員集団の一員としてなくてはならない存在。非常勤ではその役割は担えない」と計画の撤回を教育長に求めました。「市長の正規職員減らしこそが福祉や教育の現場に多忙化を広げてきた元凶。職員削減路線をやめるべきだ」と市長に迫りました。

高校の図書司書

中山市議は3月議会で市職員削減問題を取りあげました。市立高校4校の常勤図書司書を非常勤にし、学校教員と保護者から司書減らしはやめよと要

中山市議「図書館教育の後退だ」

削減・非常勤化やめよ

中山市議も全方

少人数学級 小4まで広がる

「わかるまで教えてほしい」「一人ひとりに行き届いた教育を」——こうした切実な声にこたえるのが少人数学級です。

中山市議はこれまでも少人数学級の全学年実施を議会で追及。とくに常勤教員の採用を求めてきましたが、今回初めて常勤での対応で小4まで拡大します。

市長公約は全学年実施です。この公約を果たさせるため、中山市議はさらにがんばります。



校舎の大規模改造 予算ふやし急げ

教育長は「今回の事態を踏まえ、専門業者に調査依頼し、結果対応してまいります」と早期対応を約束しました。3度の事故を生みだしたことを追及。「緊急事態なのに、専門家・業者に依頼していいのは経費削減のためではないのか」と指摘し、「教育委員会での責任で緊急予算を組んで一斉点検、補修をすべき」とただしました。

中山市議は学校の大規模改造（校舎のリフォーム）も3月議会で要求。国の基準である築20年をこえても実施していない市立学校が約3分の1に上っている実態を示し「教育予算を抜本的に増やし、学校施設の改善で安全の確保を」と市長に答弁を求めました。市長は「今後とも教育環境の充実につとめていく」と述べるにとどまりました。

学校施設



落下したサッシ

窓サッシが3度も落下する事故が… 早期の対応約束させる

大規模改造する国の基準＝築20年をこえた市立校は…

築30年	54校
築25年	78校
全体の3分の1に!	



西鉄バス脇山線



内野陽光台～曲淵間、内野陽光台～谷口間、脇山小～椎原間を結ぶこの路線の維持を要求（昨年6月）

新年度2900万円の補助つく 昨年議会で中山市議が路線維持を求める

西鉄バス・脇山支線の廃止問題で、路線維持へ新年度2900万円の補助がつくことに。中山市議は昨年6月議会で、住民の要望や子どもたちへの影響を紹介。料金・便数維持について市が責任を持ち、西鉄に路線継続を厳しく求めるよう市長に迫り、市も「生活の足が確保されるようとりくむ」と答えていました。